資　料　４－１

要点審議事業

道路事業　再評価

一般国道4号　仙台拡幅（せんだい　かくふく）

令和5年8月　7日
国土交通省　東北地方整備局

1. 事業の目的と概要

前回評価後5年経過

○事業の目的

・仙台バイパスの慢性的な交通混雑の緩和
・混雑緩和による交通事故の減少

○計画概要

起終点　：自：宮城県仙台市若林区卸町
　　至：宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷
延長(開通済)：６．０ｋｍ（４．６ｋｍ）
幅　　員　：４０．０ｍ～４６．０ｍ
道路規格　：第３種第１級、第４種第１級
設計速度　：８０ｋｍ／ｈ、６０ｋｍ／ｈ
計画交通量　：７９，１００台/日
事 業 化　：平成元年度
用地着手　：平成３年度
工事着手　：平成４年度

事業費・進捗率

	全体事業費 （うち用地補償費）	執行済み額 （うち用地補償費）	全体進捗率 （用地進捗率）	H30再評価 （うち用地補償費）
完成	363億円 （62億円）	276億円 （56億円）	76% （100%）	363億円 （62億円）

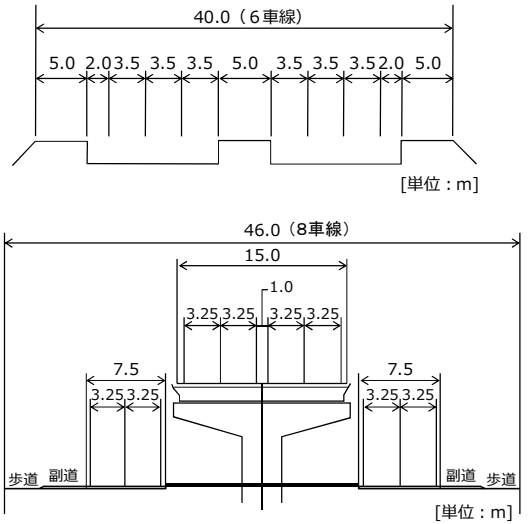
※進捗率・執行済み額は令和5年3月末時点

位置図

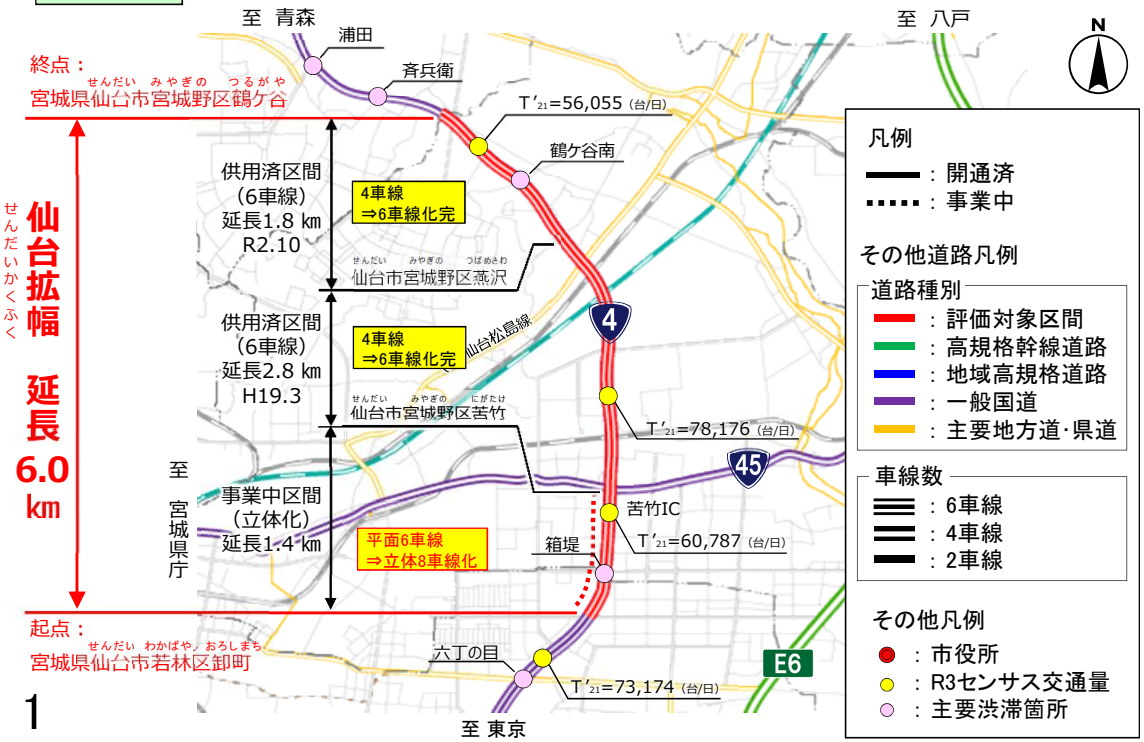


標準横断図

[単位：m]



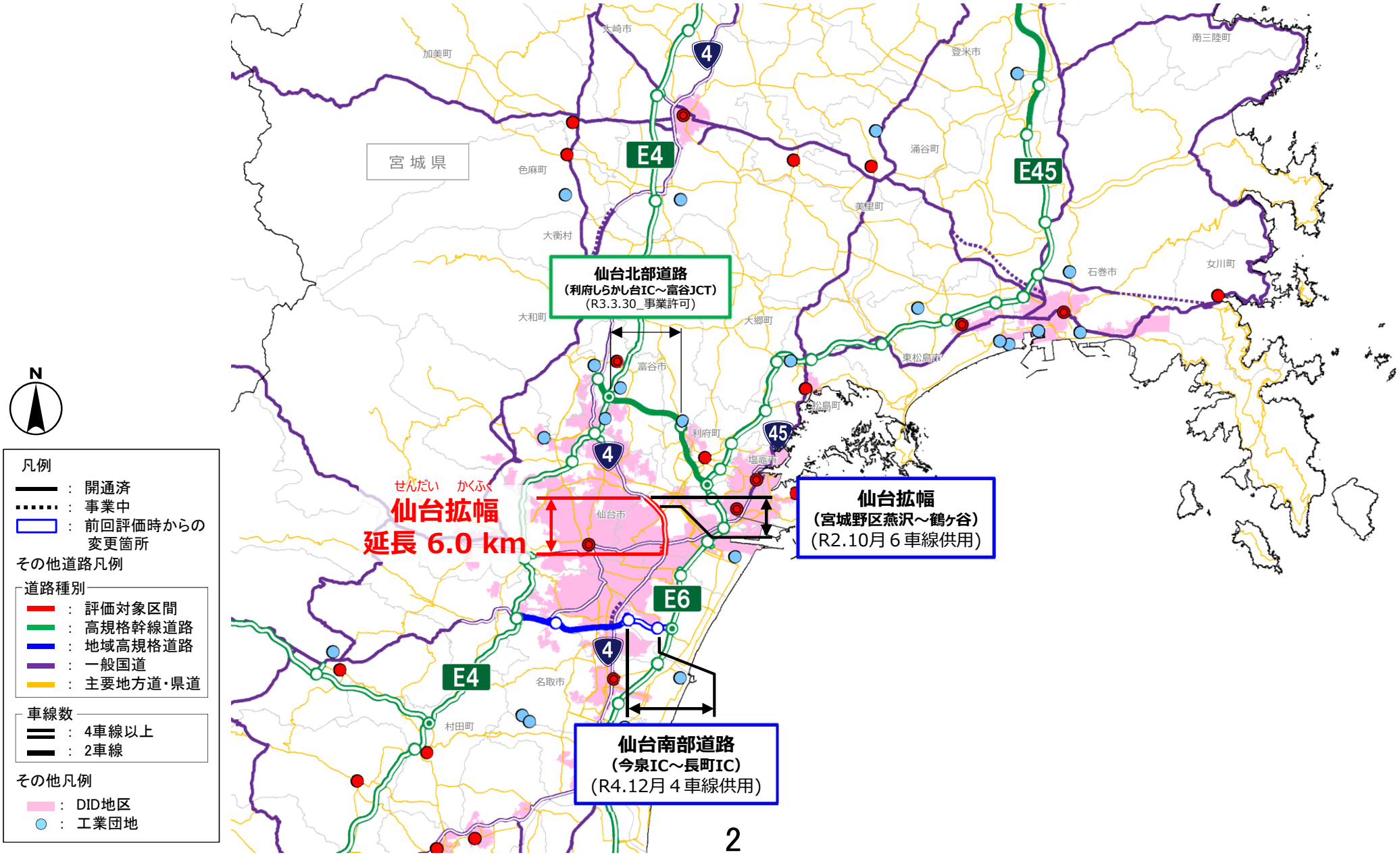
平面図



2. 前回評価時からの周辺環境等の変化

前回評価後5年経過

◆国道4号仙台拡幅一部区間（宮城野区燕沢～鶴ケ谷）が令和2年10月に6車線供用。
◆仙台南部道路（今泉IC～長町IC）が令和4年12月に４車線供用。

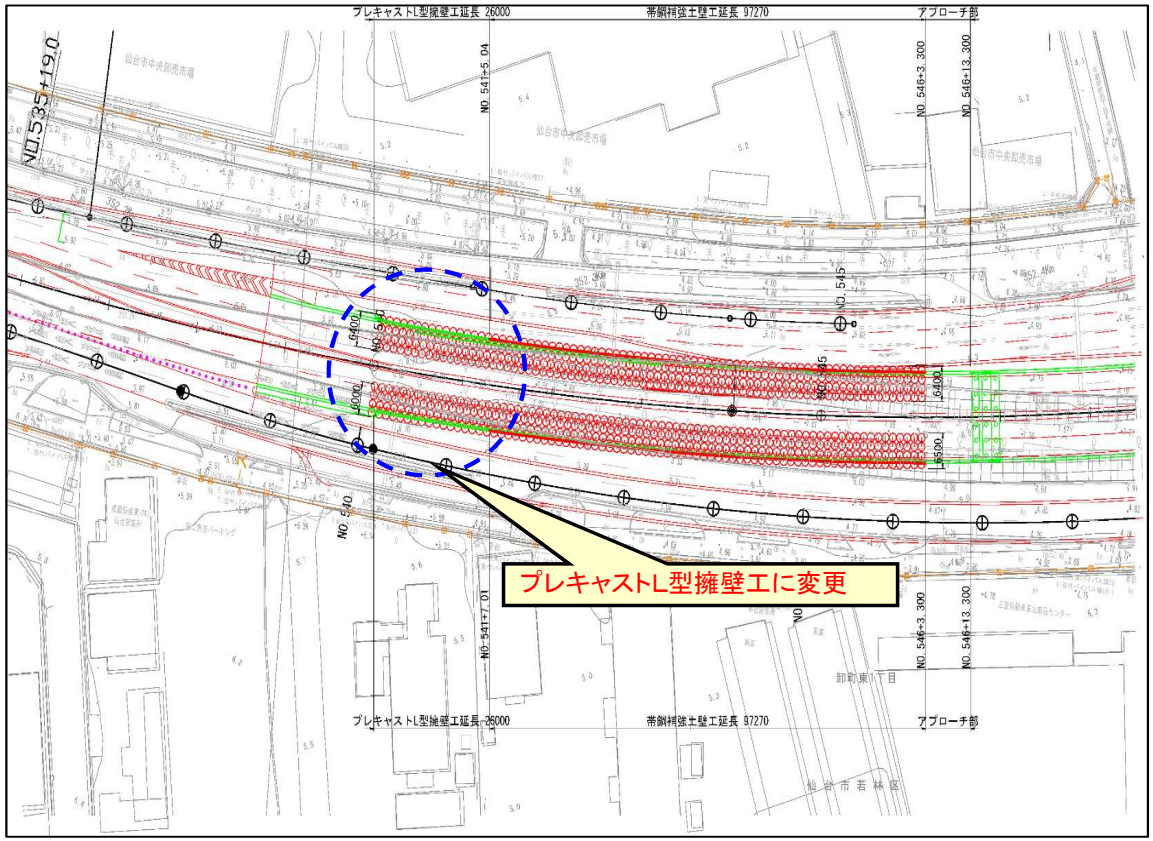


3. コスト縮減の取組み事例（擁壁構造の見直し）

■擁壁構造の見直しによるコスト縮減（－0.20億円）

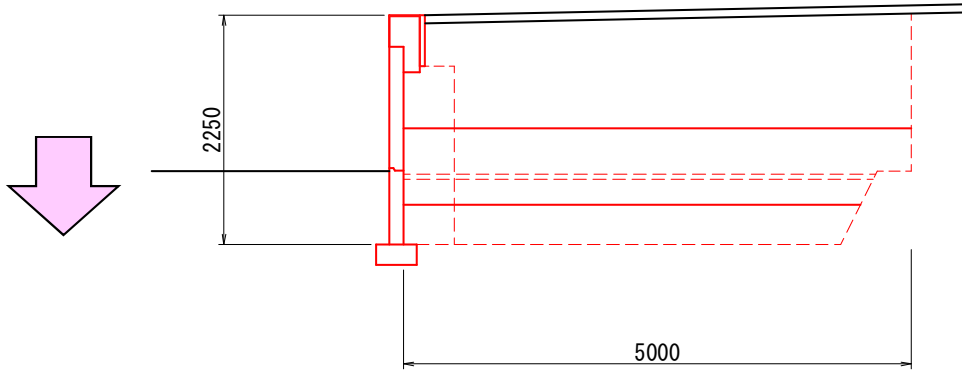
○当初計画：0.23億円
　帯鋼補強土壁工とする計画

○変更計画：0.03億円
　低盛土部（壁高H=2.25m以下）について、経済的に優位となるプレキャストL型擁壁工に変更

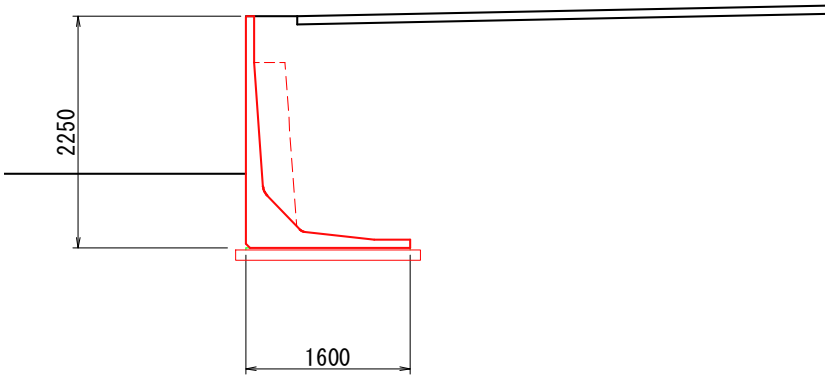


	当初	見直し	変動
擁壁構造の見直し	0.23億円	0.03億円	-0.20億円
合計	0.23億円	0.03億円	-0.20億円

当初計画　■帯状補強土壁工



変更計画　■プレキャストL型擁壁工



4. 事業の投資効果

○算出条件・費用便益分析の前回比較

※費用及び便益の合計は表示桁数の関係で計算値と一致しない場合がある。

			前回	今回	変化	変 更 概 要
基準年度（評価年度）			H30	R5	あり	・前回評価から5年経過
事業期間			H1～H36	H1～R6	なし	
費用便益分析マニュアル			H30.2	R4.2	あり	・R4.2マニュアル改訂（原単位の見直し）
計画交通量推計年度			R12	R22	あり	・最新ODへの見直し
計画交通量推計OD（フレーム）			H22OD	H27OD	あり	・最新ODへの見直し
計画交通量（台／日）			82,700	79,100	-3,600	・最新ODへの見直し ・転換率式の見直し ・NW条件の変化：R3仙台北部道路の4車線事業許可
事業費　億円			363	363	－	
費用便益　億円	全体	総便益B（現在価値）	632	718	86	・計画交通量の減少に伴うB/Cの減少
		総費用C（現在価値）	467	558	91	
		費用便益比（B／C）	1.4	1.3	−0.1	
	残事業	総便益B（現在価値）	272	90	−182	・計画交通量、一部区間供用等に伴うB/Cの減少
		総費用C（現在価値）	145	65	−80	
		費用便益比（B／C）	1.9	1.4	−0.5	

○今回の費用便益分析

全　体（億円）	便益　B	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	総便益
		687	25	5.6	718
	費用　C	事業費	維持修繕費	更新費	総費用
		539	19		558
	B／C				1.3
残事業（億円）	便益　B	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	総便益
		78	6.8	5.2	90
	費用　C	事業費	維持修繕費	更新費	総費用
		61	4.7		65
	B／C				1.4

○今回の感度分析

【全　体】

交　通　量：	(−10%～+10%)	1.1 ～ 1.4
事　業　費：	(−10%～+10%)	1.3 ～ 1.3
事業期間：	(+20%)	1.2

【残事業】

交　通　量：	(−10%～+10%)	1.2 ～ 1.4
事　業　費：	(−10%～+10%)	1.3 ～ 1.5
事業期間：	(+20%)	1.4

5. 事業の必要性に関する視点（事業の進捗状況）

１）社会情勢
・事業目的である交通混雑の緩和、交通事故の減少、物流拠点機能の強化が必要な状況は変化していない。
２）事業の投資効果
・B/Cが全体で１． ３、残事業で１． ４を確保。
３）事業の進捗状況
・延長6.0kmのうち、4.6km６車線で開通済。（R5.3末時点で事業進捗率７６％）

6. 事業の進捗の見込みの視点

〇令和６年度に立体８車線で開通予定。

7. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

〇擁壁構造見直しにより、コスト縮減を図っている。

8. 地方公共団体等の意見

○仙台市長の意見

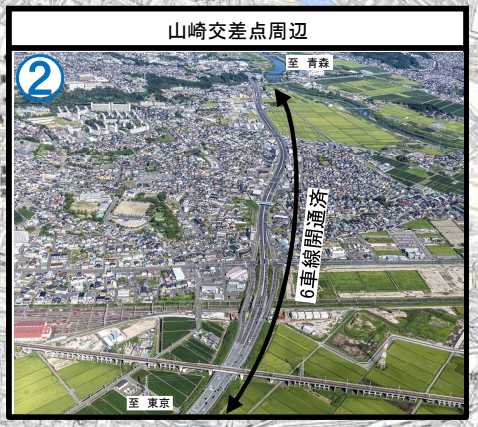
事業の継続実施に異議はありません。
一般国道４号仙台拡幅事業は、周辺地域の交通の円滑化や国道４号バイパスの渋滞緩和にも大きく寄与することが期待される事業であり、コスト縮減にも最大限に配慮しながら、早期完成に向け推進いただきますようお願いします。

9. 対応方針（原案）

事業継続
（理由） 仙台バイパスの抱える交通混雑・交通事故・物流拠点機能の強化の解決のため、早期整備の必要性が高い。

10. 事業の進捗状況　一般国道4号　仙台拡幅







至 青森

せんだい　みやぎの　つるがや
（終）宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷

鶴ヶ谷南交差点

T'21=56,055（台/日）

なか さか
中の坂橋
延長40m

せんだい　みやぎの　つばめさわ
仙台市宮城野区燕沢

つばめさわ
燕沢跨道橋
延長22m

つばめさわ
燕沢跨線橋
延長41m

つばめさわ
燕沢跨線橋(側道)
延長73m

こやかわ
高野川橋
延長27m

にがたけだいいち
苦竹第一こ道橋
延長32m

苦竹IC

T'21=78,176（台/日）

こづる
小鶴跨道橋
延長38m

うめだかわ
梅田川橋
延長129m

せんだい　みやぎの　にがたけ
仙台市宮城野区苦竹

T'21=60,787（台/日）

箱堤高架橋
延長285m

箱堤交差点

六丁の目交差点

せんだい わかばやし おろしまち
（起）宮城県仙台市若林区卸町

至 東京

R2開通 L=1.8km

H19開通 L=2.8km

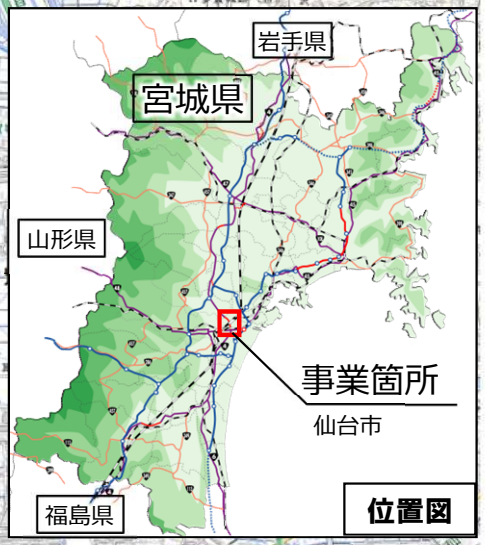
一般国道4号 仙台拡幅 L=6.0km

延長1.4km

交差点立体化

事業区間

N



至 八戸

45

○ R3道路交通センサス

事業区間



凡例　R5.4月現在

施工中　施工済み　着工前

出典：地理院地図に、文字・線等を追記して掲載